

平成 28 年 8 月

平成 28 年度文部科学省補助事業

『喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する指導参考資料』研修会 実施要項

【目 的】

近年、我が国の青少年の抱える健康課題が多様化、深刻化する中で、未成年者による喫煙や飲酒ならびに薬物乱用も課題の一つであり、とりわけ薬物乱用においては、危険ドラッグの登場や、他の薬物乱用者が減少傾向にある一方で、向精神薬の乱用が増加傾向であることから学校等における指導・教育のさらなる充実強化が求められている。日本学校保健会では文部科学省の補助を受け、平成 20 年から平成 21 年にかけての学習指導要領改訂に基づき『喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する指導参考資料』を改訂、全国の学校へ配付した。平成 25 年 8 月 7 日に文部科学省 薬物乱用対策推進会議において「第四次薬物乱用防止五か年戦略」が決定したことを踏まえ、『喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する指導参考資料』を有効に活用できるよう本研修会を実施する。

主催：公益財団法人日本学校保健会

後援：滋賀県教育委員会 滋賀県学校保健会（いずれも申請中）

- 1 日 時：平成 28 年 10 月 20 日（木）開場 9 時 開演 9 時 30 分 終了 12 時 00 分
- 2 会 場：栗東芸術文化会館さくら 中ホール（滋賀県栗東市糺 2 丁目 1-2 8）
- 3 参加対象：学校教育関係者等（管理職、教諭、養護教諭、保健主事、栄養教諭、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、行政担当者）
- 4 参加費：無料
- 5 募集定員：350 人（申込先着順、定員になり次第締切）
- 6 内 容
 - (1) 特別講演 我が国の薬物乱用の実態と予防の考え方
岐阜薬科大学・兵庫教育大学 名誉教授 勝野 眞吾
 - (2) 講演 これからの喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育の考え方
東京薬科大学薬学部 教授 北垣 邦彦（前文部科学省学校健康教育課健康教育調査官）
 - (3) 実践発表 今求められる喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育～指導参考資料を基盤にして～
公益財団法人 日本学校保健会 事務局長 並木 茂夫

9:00	9:30	9:40	10:20	11:00	11:10	11:50	12:00
開場	開会	特別講演	講演	休憩	実践 発表	質疑 応答	

- 7 参加申込方法：日本学校保健会運営ポータルサイト「学校保健」より申込